

あけまして

おめでとごいびきいまます

あけましておめでとございます。皆様には、穏やかな良き年を迎えられたことと存じます。また、日頃から市政運営にご理解とご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

昨年11月に、市長として2期目のスタートを切って、最初の新年を迎えました。市政を担う責任の重さを胸に刻み、皆様の期待と信頼に、しっかりとお応えしていく所存です。

これまでの4年間は、厳しい財政状況の中、庁舎整備や地域医療の問題など、課題が山積みの市政を見直し、私たちのまちをもう一度建て直したいと、「ムダのない財政」「医療の再生」「観光・農林業の再生」を重要施策として、「勇氣と覚悟」を持ち、「成すべきことを成す」という気持ちで取り組んできました。

人口減少・少子高齢化社会を迎え、財政規模の縮小が予測される中、持続可能な伊賀市のまちづくり、地域

の個性や特性を最大限に生かしたまちづくりが求められています。

こうしたことから、若者や働く世代、子育て世代の交流の確保は、どうしても必要なことです。現庁舎を^{*}リノベーションし、図書館などの生涯学習施設や忍者関連施設、高等教育機関などを併せ持ち、365日朝から夜までライフスタイルに応じて、若い世代や観光客はもとより、多くの市民の方にとって活用いただける施設として整備を進めたいと考えています。

また、これまでの第3子以降の保育料の無料化、中学生までの医療費の助成を継続しつつ、伊賀市独自で、今年10月の実施を目標に子ども医療費の窓口無料化に取り組み、妊娠・出産・子育てまでの切れ目のないサポート体制「伊賀流子育て応援の術」の充実を図ります。

このほか、市道ゆめが丘摺見線沿

道の丘陵地で進める約20haの民間開発による新たな工業団地計画について、できるだけ早い時期に成果を上げるべく、事業の課題を整理し、事業者手、民間開発事業者の募集などを進めたいと考えています。

そして、昨年末には、「上野天神祭のダンジリ行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。地域の宝が世界の宝になりました。ほかにも、伊賀には先人から引き継がれた文化や歴史など、魅力がたくさんあります。その魅力を、国内外にさらに発信していきたいと思えます。

「誇れる伊賀市」「選ばれる伊賀市」に向け、地域の可能性をしっかりと形にし、地域経済を振興していききたいと思えます。市民の皆様には、引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

伊賀市長 岡本 栄

^{*}リノベーション 既存の建物に大規模な改修工事を行い、用途や機能を変更して性能を向上させたり価値を高めたりすること

市長などの公職にある者は、公職選挙法により年賀状などのあいさつ状を出すことが禁止されていますので、本紙上をもって年賀のごあいさつに代えさせていただきます。



とり 酉年 生まれの皆さんに 今年の抱負を伺いました

新春企画

※氏名・生まれ年・住所・職業と、今年の抱負を掲載しています。



毎日笑顔で
過ごしたい！

◀ 阪本 祥絵さん
(平成5年生まれ)
玉瀧・団体職員

▶ 奥中 弘樹さん
(昭和44年生まれ)
柘植町・飲食店経営



今年で
創業10周年。
多くのお客様に
喜んでもらえる
お店づくりを
したい！

毎日健康で
元気に暮らしたい！

▶ 太田 絹江さん
(大正10年生まれ)
上野玄蕃町・無職



生涯現役で
いろいろなことに
挑戦できるよう、
健康に過ごしたい！



◀ 西中 敏さん
(昭和20年生まれ)
島ヶ原・無職

▶ 二宮 由実さん
(昭和56年生まれ)
上野徳居町・飲食店経営



昨年伊賀市に移住し、
皆さんに良くして
いただいたので、
この地域に貢献
できるような
お店にしていきたい！

干支の酉のように
力強く羽ばたき、
さわやかで明るい
毎を送りたい！

休みなく農業を
続けてくれた環境と
お世話になった人に
感謝しながら、
2017年の最後を
笑顔で迎えたい！

▶ 永井口 典子さん
(昭和32年生まれ)
勝地・農業(養鶏)



剣道の県大会の
個人戦で優勝
できるように
練習を頑張りたい！

◀ 松浦 隼さん
(平成17年生まれ)
四十九町・小学生



◀ 川端 正人さん
(昭和8年生まれ)
出後・無職



*ご協力いただき、ありがとうございました。
皆さんにとって、実り多き1年となりますように…